

磐田市立豊田東小学校

静岡県埋蔵文化財センター

出前授業レポート

令和4年6月28日(火)

子どもたちの感想がすごかった！「教科書では学べないことが学べた。」

磐田市立豊田東小学校の6年生67人が、授業で学んだ歴史について、専門家から直接話を聞いたり、見たり触れたりすることで、更に理解を深め興味を広げることを目的に、加藤先生が出前授業を計画し、発掘調査と地域の遺跡（講話）・土器の分類・石器の試し切り・火起こしの4つの体験活動を行いました。

発掘調査の概要と周辺

の遺跡について(講話)

最初に、発掘調査や保存処理の概要など、県埋蔵文化財センターの仕事内容を話しました。次に、豊田東小学校周辺の遺跡について詳しく説明しました。広野北遺跡の真上に豊田東小学校が建設されたことも再認識しました。



石器の試し切り体験

「石では切れないと思っていた。工夫がすごい。」「切れ味がすごかった。」「自分たちの身の回りにあるものを使って切っていた。」

はじめは、打製石器や磨製石器などを紹介し、石で木を切り倒したり、土を掘り起こしたりすることができる等、石器の役割や必要性などを考えました。次に、黒曜石を手に取り、新聞紙や野菜くずを切ってみました。



土器の分類体験

「色の違いで分かれることがわかった」

はじめに土器片を3つに分けてみました。縄文土器と弥生土器の違いは明らかにわかりますが、弥生土器と須恵器の違いには苦労していました。ろくろを使った跡など、土器の作り方の違いを知り、分類することができました。



火起こし体験

「1回目はついたけど、2回目、3回目はつかなかった。火起こしは大変。」「腕が痛くなって毎日続けるのは大変。」「ろきり法でやったけど、煙も出なかった。力が必要だと感じた。」

6月なのに大変暑い日だったので、職員室横の軒下（日陰になる場所）で火起こしをしました。高台にあるため風の通りがよく、せっかくできた火種を火口に移す間に飛んでしまうハプニングが時々あり、苦労しました。それでも、子どもたちは弾み車を一生懸命回して火を起こしていました。



加藤先生の感想

「単なる楽しい体験でなく、その当時に思いをはせ、知識と照らし合わせて体験できました。話を伺う時間と体験する時間の配分がとても良かったです。歴史のお話を通して、センターの方の人柄まで伝わってきました。子どもたちが生き生きしている姿を見られてうれしく思いました。子どもたちも体験により、歴史を身近に感じていたようです。」

